



新年あけましておめでとうございます



新しい年である2021年（令和3年）がいよいよスタートしましたね。

2021年は果してどのような年になるのでしょうか？

昨年1年をふりかえり、今年2021年を少し予想してみました。

この150年間人類にとって「科学」は神以上の存在になってきました。今まで多くの科学者は「科学は万能」であるという間違っただ幻想を私たちに教え込み、信じさせようとしてきました。しかし、科学が万能ならば何故私達をとりまく環境がこんなにひどいのでしょうか？

自然だけでなく人の心まで破壊しつづけるこの科学は本当に「神」にかわるものなのでしょうか？

そんな簡単な疑問を私たちは今持ちはじめています。

現在、この地球は化学、物理によってつくられた成果物によって満ちあふれ、それによって多くの人たちは恩恵を受けているのも事実です。しかし見方を変えれば地球は薬剤によって汚れ、その上で生活をしている全ての動植物等が様々な面で苦しんでいる姿が見えます。もしこの地上から人間がいなくなれば地球は数万年かけ浄化し元に戻すでしょう。しかし、その浄化された地球に人間（人類）が戻ってくる事はありません。

この問題は人類存続の危機であって、地球の危機ではないのです。

世界中でニコラ・テスラの理論、理念に基づく「フリーエネルギー」発生装置が完成しています。しかし、このようなものが世に出ると今までの水力発電、火力発電、原子力、風力などの発電が全く不要となります。既得権を持つ人達は政治、暴力、マスコミなどを通じてこのような技術の存在を詐欺と扱い、そして、潰してきました。

私たちの「電解電子機能水」も同じ扱いを受けています。水を電気分解しただけのものが医薬品、化学脱脂防錆材に農薬に代替されては困る人達がこの地球上にたくさんいます。

いわゆる既得権者と言われる人達です。私達は長い間こうした人達から誹謗中傷を受け、正しい評価もされない中、この開発を続けてこなければなりません。

しかし、2020年のCOVID-19の問題は私たち人類に一つの選択をせまってきたと思います。上から大きな力で押さえつけてくる「科学絶対主義」をとるのか、「自然との調和」をとるのかという選択です。

2021年は科学との調和の年、人が金銭第一主義から離れる最初の年になると私は思います。

薬剤という底なし沼にはまりこみ、少しずつ沈んでいく地球生命体の姿は決して私たちに素敵な感動を与える姿ではありません。「絶望」の姿です。

2021年は私たち一人一人が一步踏み出す年なのです。自分達の力でこの危機的状況を解決し、明るい未来をつくり上げる元年とすべき年であると私は感じます。

そうしなければ、私たちはこれから更に苦しみ、そして破滅へと加速していくでしょう。

そんな時代を私たちの子供たちに絶対伝えてはいけません。

そして最後に、「本物は非常に簡単であり然程気取ってはいない」ということです。

● 2021年1月17日「第2回ステラの会」開催

広島オフィス1階にて、第2回ステラの会を開催する予定です。

○ 2021年1月17日（日） 13:00～16:00

○ 内 容

- ・太田代表理事からのお話「2021年の計画と予定について」 13:00～14:00
- ・意見交換会
- ・質疑応答

● 古神道の神棚

2021年1月18日（月） 13:00～16:00

広島オフィス（4階）に古神道による神棚がお祀りされます。

その後、古神道の宮司による一連の神事が執り行われます。

これから世界中で「電解電子機能水」は引く手数多（ひくてあまた）となるでしょう。

その前にしっかりと体制を整える必要があります。



東京事務所に祀られている古神道の神棚
(私たちは毎日ご参拝しています)



一般社団法人

地球環境改革再生機構

Global Environment Reform and Recovery Organization



東京本部：東京都豊島区巣鴨 1-10-3 第三川端ビル TEL：03-5981-9131 FAX：03-5981-9132

広島Office：広島市中区舟入町 2-20 三栄広島ビル TEL：082-232-0369 FAX：082-232-0358